



しおや まさき

くらしの相談担当者レポート No34

安心・快適・元気なまちづくり！

発行日：令和 5年10月31日
 発行所：トヨタ自動車労働組合
 発行人：近藤大輔
 編集者：塩谷雅樹
 印刷所：(株)トヨタテクノライズ
 共栄カンパニー



After Covid-19

1. 公約の進捗

大分類	取組テーマ	取組内容（新規or継続or拡大or再取上）	進捗状況
安全安心なまちづくり 自助・共助・公助の推進と連携 	防犯・防災対策の充実 高齢者への支援と注意喚起を再取上げ！	- 矢作川鵜の首開削事業と支流拡幅事業促進！（継続） 高齢者の特殊詐欺被害防止！（再）	35% 40%
	タイムリーな情報発信 議会運営や活動のDXを目指す！	- 災害時に自身や家族の行動を共有するためのマイタイムライン作成支援！（継続） 議会活動や市民への情報発信等にオンライン電子表決等のデジタル技術を活用！（新規）	50% 40%
	医療・介護の充実	在宅医療・介護の充実に向けたオンライン診療、介護への支援と介護ロボット導入支援！（継続）	50%
快適なまちづくり 人と環境にやさしい交通政策 	道路や公共交通機関の整備促進	- 南北バイパスの早期開通、竜宮橋4車線化！（継続） - タクシーを活用した地域コミュニティの充実！（継続）	55% 55%
	次世代交通環境への支援強化	- 次世代自動車の利活用拡大！（拡大） 超小型EVリバーリーの利用促進！（拡大）	50% 50%
	交通安全対策の推進	- 歩行者保護活動の更なる推進！（継続） 生活道路の速度抑制に向けた狭窄対策の整備促進（拡大）	60% 50%
元気なまちづくり 市民・地域・企業・行政が互いに支え合う環境づくり 	子育て・教育環境の充実	- 休日部活動の支援体制の構築！（継続） - 保育師の確保と、ICTを取り入れた保育の質の向上！（継続）	30% 70%
	地域コミュニティの活性化	大規模イベントを生かしたまちづくり！（拡大） - 地域団体の活性化！（継続）	50% 45%
	働き方支援の充実、更なる産業の活性化	DXの推進、CNの実現に向けた支援の強化！（拡大） - 中小企業及びスタートアップへの支援強化！（継続）	40% 40%

「豊田市に暮らして良かった」と思えるような取組を進めて行きます！

＊ 今期、特に力を入れていきたい項目を赤字で表記しています！



2.職域・地域活動



本工支部 交通安全立哨

本工支部の皆さんと夏季連休前の交通安全運転を呼び掛け！
歩行者保護に努めましょう!!



生産TPS病院支部



コーポレート支部

生産・コーポレート支部期初研修

組合組織と、支部の名称も新たに60期前期がスタートしました！
一年間宜しくお願いいたします!!



おいでんまつりボランティア

組合執行部の皆さんと花火会場のゴミの回収ボランティアに参加！
多くの方と触れ合えました!!

3.くらしの相談 改善事例

■カバハウス周辺道路の改善！

①道路歩道に生えた雑草が走行中の車両にあたる！



カバハウス前道路

雑草と樹木が道路にはみ出している



before



after

雑草の除草

②歩道橋のタイルが剥がれ、踏み・転倒の恐れあり！



カバハウス北側歩道橋

タイルが剥がれ外れている



before



after

舗装面の補修

ご提案ありがとうございます！
今後も、くらしの改善に努めていきます！

4. 9月議会、主な議案・一般質問

■医療費助成条例の改定

- ・18歳以下の通院医療費を無償化とする！
これまで、中学生までの通院と、大学生までの入院医療費を助成してきたが、**新たに、16歳～18歳 までの、通院医療費を全額支援！**

■15歳と18歳のインフルエンザ予防接種費用助成

- ・今年流行が懸念されるインフルエンザに対して、受験等の人生の大きな節目を迎える世代に、予防接種費用を支援！

対象：中学3年生と高校3年生

助成費用：医療機関に支払った金額（上限5,000円）

■防犯カメラ増設

- ・主要交差点に防犯カメラ新設＝70か所
犯罪抑止と交通事故低減に向けカメラと注意喚起看板を設置！
- ・市役所のセキュリティー強化に向け防犯カメラ新設と更新＝計94か所

物価高等の影響を考慮して
市民サービス向上に努めます！



■一般質問「消防力強化への対応」

くらしの安全を守るために取り組んでいきます！

- ・甚大化、頻発化する災害に加え、気候温暖化による災害の多様化や、火災・事故・水難・感染症などに対応していくため、消防力の強化を提言！

消防長：大規模災害等に備えた取組とともに、ドローンや小型ロボットなど先進技術を進める。新たに、AEDの使用済みパットの補填を新設。

市長：将来にわたり安心できる消防力を備えたまちづくりを目指していく。

